

この頁より合計 3 ページにご回答の上、2 頁で解説のウェブ回答、FAX 等にてご返送下さい。

平成 29 年衆議院議員選挙に際して  
LGBT (性的指向・性自認) をめぐる課題に関する  
各立候補者の政策と考え方に関する調査<調査票>

平成 29 年 10 月

LGBT 法連合会

立候補 (予定) 者のお名前 松本けんじ、所属政党 希望の党  
(北海道 2 区) 選挙区 ・ 比例区 北海道ブロック

連絡用お電話番号:

問 1 貴政が今回の衆議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかの LGBT 支援・権利確保政策は既に含まれていますか? 将来はいかががでしょうか? (単独回答)

1. LGBT の課題として、既に含まれている
2. 様々な少数者の支援・権利確保を謳う中に含まれている
3. 将来入る可能性はある
4. 将来入る可能性はない
5. その他 (具体的に: 私が掲げる「しあわせの土台づくり」という政策理念には、LGBT の皆さん) も含めあらゆる人々が持つ、個人の幸せへの思いを支える土台を作り上げることが政治の役割であるとの思いが込められています。

問 2 個人としての、LGBT 当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人から LGBT であることを、もし告白 (カミングアウト) されたら、あなたはどうなさいますか? (複数回答可)

1. その人を尊重し応援したいと思う
2. 距離をおきたいと思う
3. 差別や偏見で苦労するだろうから、異性愛者としてや、戸籍上の性別のまま生きていくように諭す
4. 答えられない/分からない
5. その他 (具体的に: 人間の持つ価値観は多様であり、その多様さを活かした個人の生き方、) 社会の在り方を真摯に模索し続けたい。

図3 LGBT支援政策の下記の①-⑦の課題各々に関して、法制度や行政がどのように対応すべきか、ご自身のお考えを選択肢1-5から選び、ご記入下さい。

	法律で義務付け、全国一律に普遍的な制度とするべきである	法律による具体的な規定をせず、行政(都庁・自治体等)の裁量に委ねられるべきである	現行の法律にゆだねられるべきである	わかりやすい	その他/ 1-4から選択肢を選んだうえでの補足、等(自由回答)
① 性的指向・性自認と、LGBT当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う	1	2	3	4	5
② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBTへのいじめ・差別を防止する	1	2	3	4	5
③ 国・自治体の各レベルで、LGBT(性的指向・性自認に係る)の困難解消に向けた、基本計画を策定し実施する	1	2	3	4	5
④ 学校・職場における、LGBTへのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立する	1	2	3	4	5
⑤ 困難を抱くLGBTに対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に整備する	1	2	3	4	5
⑥ LGBTに対する(性的指向・性自認に係る)、差別や不利益取扱いを防止・禁止する法律やルールを制定する	1	2	3	4	5
⑦ 施設・職場・学校等にて、LGBTに配慮した、サービスや施設面の対応を推進する	1	2	3	4	5

①から⑦に関して共通して言えることだが、一人一人の国民が正しく合理的な理解を進めるための努力を社会全体で取り組む必要があると考えます。また、既に自治体レベルで様々な細やかな取り組みが始まっており、こういった取り組みを全国に展開していくことも必要です。最も重要なのは人間同士が互いに心から敬意を払いあえる社会を作るための努力を政治も社会も国民一人一人も協働して進めることだと思います。

回答としては、その他を選択肢として

9/9

問4 世界では、現在41の国と地域で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域では同性間に適用できるパートナーシップ制度が広がっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）

1. 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ
2. 現在の婚姻に加えて、別途同性間だけのためのパートナーシップ制度を設けるべきだ
3. 現在の婚姻に加えて、（事実婚など異性間でも、）同性間でも利用できるパートナーシップ制度を設けるべきだ
4. 各自治体が、条例や首長のリーダーシップにて、同性間の関係を認知する宣誓・証明等を行う仕組みを広げていくべきだ（渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市等の例にならぬ）
5. こうした制度は異性間のものであるべきで特に必要ない
6. 答えられない／分からない
7. その他（具体的に：実際に婚姻制度の枠の外で生活を営む人の権利を守るための取り組みは強化すべきです。同時に、憲法との兼ね合いも考え、より具体的で取り組みやすい方法で施策を展開するべきだと思います。）

問5 貴殿が当選した際には、様々な困難に直面するLGBT当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事が出来るとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。

（自由記述）

1人の国会議員としてというより、一人の人間として、あらゆる人に対して真摯に接し、敬意をもって接することを実践し、その姿勢を自らの中で固めることを通して、政策作りに活かしていきたいと思えます。

\* 質問は以上です。記入流れがないか念のためご確認の上、ご返送下さい。ご多忙の中、ご協力いただき誠にありがとうございました。